

公開保育

子どもの「やってみたい!」をその先へ
～遊びの中でひらめきや感動体験を通して発達する子どもの姿～

2023.11.10 実践報告書

1. はじめに

一人ひとりを大切にしながら接していく中で、更なるステップアップを目指していきたいと思い、公開保育を計画致しました。毎日の生活の中にある子どもたちの小さな発見や感動、そして成長・発達の姿を共有し合うことで、子どもたちの成長発達にとって欠かすことのできない場であり、成長の場であることを実感することが出来ました。

2. 各クラスにおける実施概要

(1) 公開保育実施日 令和5年11月10日(金)

社会福祉法人みつは会 認定こども園 みどりのかぜエデュカーレ
10:00 ～ 11:30 公開保育(フリー参観)

(2) 発表クラスの活動のテーマとねらい及びアドバイザー

・0歳児

テーマ 『であう』～気づきから経験へ～

ねらい 身近なものに興味、関心を持ち、見て触れる楽しさを味わう

・1歳児

テーマ 『ふれあう』～安心から探究へ～

ねらい 身の回りに様々な人がいることに気づき、関心を持って遊ぶ

・2歳児

テーマ 『みつける』～好奇心の芽～

ねらい 戸外活動の経験の中で自然に触れ親しむことを喜ぶ

・3～5歳児 こども工房めっちゃエミリア

テーマ 『やってみたい』～遊びの連続性から生まれる好奇心～

ねらい 3歳児 落ち葉に触れて色や形の変化に気づき自分で表現することを楽しむ

4歳児 石を使った遊びを通して、自分の好きな遊びを見つけ、楽しむ

5歳児 友だちと話し合いながら、テーマに向かって作り出していく楽しさを知る

・アドバイザー 聖和学園短期大学 保育学科 准教授 上村 裕樹 氏

(3) 参加者 (特定非営利法人全国認定こども園協会 令和5年度 東北地区活性化研修会ご参加の方々)

こども家庭庁 … 1名

幼児教育・保育施設関係者 … 18名

保育教材取り扱い業者関係 … 1名 合計 20名

3. 公開保育を終えて

(1) 参加者からの感想・意見

- ・全体の様子を拝見させて頂きました。ありがとうございました。近くでもはじめての見学だったので多数にわたり参考にさせていただきたいと思いました。子ども達の笑顔いっぱいの声が印象的でした。
- ・子ども達の主体性が見えました。開放感ある施設で自由に過ごしている様子、制作ひとつひとつも「これを作ります」と決まったものにせず自分で作りたいものを考えて作っている様子に感動しました。
- ・子どもたちのやりたいことを大切にし、様々なことに取り組んでいることがわかりました。
- ・参考になる点がとてもたくさんあり、実践してみたいと感じました。
- ・子ども達のやりたい、遊びたい意欲がしっかりと受け止められていました。参考になる所ばかりでした。先生方も受け入れの準備等大変だったと思います。ありがとうございました。
- ・子どもが自ら遊びたい事や環境を選べる所が良かった。続きが出来るというのが良かった。のびのび過ごしているのが伝わりました。
- ・全体的に開放感あふれる環境で子ども達はのびのび活動し、表情も豊かでした。日頃から心を育てる保育、子ども主体の保育をされているのがわかりました。色々な面で勉強になりました。参考にさせて頂きたいと思う所がたくさんありました。先生方の笑顔も素敵でした。ありがとうございました。
- ・子ども達が元気いっぱい遊んでいて、園での生活を楽しんでいる様子が見られました。先生方の言葉がけもとても良いと思います。ありがとうございました。いろいろ参考にさせて頂きたいと思います。
- ・子ども達の遊び込む姿が素敵でした。
- ・とても落ち着いていて、保育の内容も参考になりました。コーナー保育の工夫もとても素敵です。
- ・公開保育は、自身の保育の振り返りになり、また保育の向上にもなりますね。
- ・素敵な園舎で楽しそうだなと感じました。生活全てが子ども目線の動線がうらやましい。保育者がほっこりとする笑顔で子ども達にも関わり、安心基地になっているのだろうと感じました。ありがとうございました。
- ・制作活動において（環境構成がしっかりと行なわれている中で）自主的に主体的に活動する姿に関心致しました。自園でも参考にしていきたいと思います。
- ・見学させて頂きありがとうございました。園舎、園庭もとても素敵で、子ども達も楽しいだらうなと思いました。先生方も子ども達もとても落ち着いているなと感じました。
- ・子ども達がいきいきしていて、とても良い環境で保育されている様子が素敵でした。
- ・子ども達がイキイキと遊んでいる姿がとても印象的でした。自分達の遊びを見学者達に嬉しそうに教えてくれて遊びが充実しているのだと実感しました。素敵な機会を頂き、大変嬉しく思います。ありがとうございました。
- ・3日目の姿で、遊び込む姿が良く見られて、楽しんでいたのが良く分かった。
- ・0、1歳児の保育者とのゆったりした関わりの中でのびのび活動できていて良かったです。2歳児さん、生活のサポート（身支度など）保育者の声かけがわかりやすく、落ち着いて行動出来ていて素晴らしかったです。落ち葉を使った秋らしい活動も素敵でした。
- ・子ども達がじっくり集中して、好きな遊びを行っている所に感心した。
- ・子どもも保育者も穏やかさを感じました。

- ・落ち着いている子ども達の姿に感心しました。
- ・給食の様子も見てみたいと思いました。
- ・エデュカーレの保育士達の笑顔が素敵でした。子ども達もその笑顔に守られ安心して遊び過ごせている事が見受けられました。
- ・先生達のゆったりした雰囲気がとても良かったです。

(2) 各クラスの担任から

<0・1歳児クラス>

0歳児

体の発達と共に行動範囲も広がり、身の回りにある様々な物に興味を示して手をのぼし、触れて見たいという気持ちが少しずつ見られるようになってきました。公開保育当日は、普段遊んでいる手作りの感触マットやビジーボードを使って遊びました。安定した環境の中で、遊び慣れている玩具に積極的に手をのぼし、指先を使って集中して遊び込んでいました。今後も「やってみたい」「触ってみたい」という思いを大切に受け止め、発達段階に合わせた様々な体験ができるよう環境を作っていきたいと思います。

1歳児

4月当初は保育教諭と遊ぶことの多かった子ども達も、日々の様々な遊びや体験、活動を通して友達の遊びや行動に興味を示すようになり、模倣遊びが多くみられるようになりました。公開保育当日は、子どもたちが大好きな大型積み木をトンネルのように積み重ねると、一人の子が積み木の下をくぐりはじめ、次から次へと真似して遊ぶ姿が見られました。言葉が未発達の乳幼児期には、遊びの中でやり取りを楽しめるよう保育教諭が仲立ちとなり、コミュニケーションをとることが、子どもの情緒的な安定感や信頼感を育むために、改めて大切なことだと感じました。子ども達は大人やまわりの友達がすることを見て、同じようにやってみることで経験を積み、創造性や想像力の発達にも関係してくると思います。今後も、子どもが健やかに成長できるよう、発達段階に合わせた環境構成を考えながら愛情をたっぷり注ぎ、あたたかく見守っていききたいと思います。

<2歳児クラス>

身のまわりの自然物を見たり触れたりして興味や関心が出てきた子ども達が、散歩などで集めた落ち葉や木の実を使って、園庭でままごと遊びなどをしました。自然物の手触りやにおい、色、触った時に出る音など五感を通じて、今まで食べたことのあるものや経験したことのあることを連想して遊ぶ姿が見られました。子ども達が安全に遊べるように配慮をしながら、色々な素材に触れて想像力が高まるような環境の構成を心がけました。最後にみんなで集めた落ち葉を高いところから「落ち葉のシャワーだよ～」と舞い落とすと大歓声。これからも、子ども達の好奇心を育む魅力的な活動を広げていきたいと思います。

<3歳児クラス>

砂をペットボトルに入れ、振ると「シャカシャカ」と音がすることに気がついた子ども達。そこから、箱を積み上げたときの音、砂の上を歩く音、新聞紙を丸める音など日常で生まれる音に気づき、色々な素材を使い「音探し」を楽しみはじめました。「こんなものから音がでた」「ここに音あったよ」など友達と新しい発見や喜びを共有していました。また、新聞紙の破れる音や上

から砂を落とす音、絵本をめくる音など1つの素材から、徐々に遊びが広がり、空き箱とトイレットペーパーの芯を使い、太鼓を作ってみたり、ペットボトルに砂やビーズを入れてマラカスを作ったりなど、素材と素材を合わせて音作りに発展しました。その後も、完成したものを友達同士で交換したり、一緒に音を鳴らしたりしながら音探しや演奏会を楽しむ様子が見られていました。今後も、子ども達の「やってみたい」という発信を大切にしながら、更に子ども達の発見、学びを大事にして実践に繋げていきたいと思えます。

<4歳児クラス>

春から身の回りにある自然環境に積極的に関わり、友達と一緒に触れたり、遊んだりしながら様々な発見をしてきた子ども達。ある日、山で拾ってきた色づいた葉っぱや木の実を子ども達に見せると、落ち葉を拾いたいと盛り上がり、散歩に出かけることになりました。途中で、紅葉の葉っぱがたくさん落ちているのを見つけると、「みて！虹色の葉っぱがあった！」「これはウサギの足みたい！」「あ、お化けみたい！」・・・。沢山のつぶやきの中、大喜びで集めながら「これで面白いの作れないかな？」とワクワクする気持ちも聞こえ、公開保育当日は、拾ってきた葉っぱと小麦粉粘土を組み合わせ、自由にイメージを膨らませ「小麦粉粘土にクレヨンで模様かけるかな」「紅葉を紙に貼ってお絵描きしたい！」など、それぞれに工夫する姿が見られました。

今後もいろいろな素材に触れながら、子どもたちが楽しい時間を共有しイメージしたものをのびのびと表現していけるよう環境を整えていきたいと思えます。

<5歳児クラス>

自然に囲まれた地域で春から沢山の自然物に触れ、興味・関心を持ってきた子ども達。春から夏、夏から秋と季節の移り変わりと共に自然の変化にも子どもたち自ら気づき関わる姿が見られました。年長組に進級し、友だちと作ったものを共有する楽しさを味わうようになりました。今回は、落ち葉を拾った経験から、落ち葉や木の枝を使って制作を楽しみ、工夫する姿が見られました。保育教諭の想像を超える子どもたちの吹きや発見があり、日々驚かされる毎日です。異年齢での活動の際には今回のように、子どもたちの導線や、制作物の素材の配置などに配慮しながら安全で楽しく遊びこめる環境構成を今後も考えていきたいと思えます。

5. まとめと今後の課題

<全体を通して>

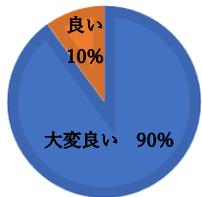
- ・ 子どもたちが興味関心を持って主体的に遊ぶ姿を大切にしていくためには、適切な援助の工夫と安全な環境構成が大切だということがわかりました。保育者が子どもの「思い」はどこにあるのかを大切に受け止め、応答的に関わり、次の活動への興味関心につなげていくのかということも大切に、今後は更に子ども達の声に応答的に関わり、耳を傾けるように心がけ、子ども達の興味・関心に寄り添えるようにしていきたいと思えます。また、子どもの経験したことやその時々のおもいを丁寧に組み取り、「何をするのか」ではなく、何をしてみたいのか、子どもにきちんと心を傾けた保育を展開していくことが重要だと感じました。
- ・ 保育を公開することにより、改めて子ども同士が関わりあい、育ちあっている様子を俯瞰することが出来ました。
- ・ 今後も「子どもの行動には意味がある」ことを踏まえ、子どもの思いを大切に受けとめ保育の質の向上に努めて参りたいと思えます。

令和5年度 公開保育 評価表
 社会福祉法人みつは会 認定こども園みどりのかぜエデュカーレ

評価段階 5…大変良い 4…良い 3…普通 2…一部検討を要する 1…改善を要する

項目		評価					
		5	4	3	2	1	その他
1	園児は、自らのやりたい、やってみたい活動に取り組んでいる様子でしたか。	18	2				
2	園児は、友達や保育者との関わりを楽しんでいましたか。	19	1				
3	園児は、友達や保育者の話を聞いて思い思いに行動することができていましたか。	18	2				
4	遊具や素材等は危険のないように安全面に配慮していましたか。	18	2				
5	保育者の園児への言葉がけは適切でしたか。	18	2				
6	保育者は、子どもの気持ちに寄り添って援助していましたか。	19	0	1			
7	保育室は、保育・教育しやすい環境の構成がなされていましたか。	18	2				
8	園庭は安全面に配慮されていましたか。	19	1				

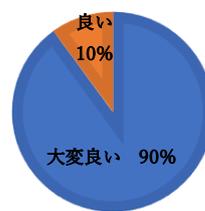
1. 園児は、自らのやりたい、やってみたい活動に取り組んでいる様子でしたか。



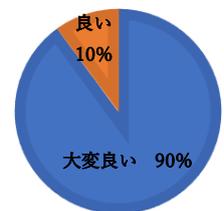
2. 園児は、友達や保育者との関わりを楽しんでいましたか。



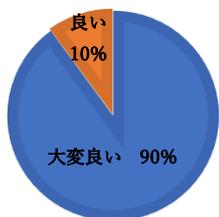
3. 園児は、友達や保育者の話を聞いて思い思いに行動することができていましたか。



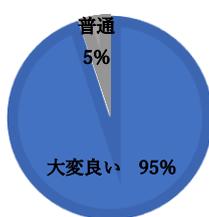
4. 遊具や素材などは危険のないように安全面に配慮していましたか。



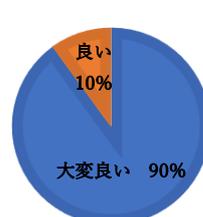
5. 保育者の園児への言葉がけは適切でしたか。



6. 保育者は、子どもの気持ちに寄り添って援助していましたか。



7. 保育室は、保育・教育しやすい環境の構成がなされていましたか。



8. 園庭は安全面に配慮されていましたか。

